



## 虫亀小運動会

さる六月二十一日、虫亀小学校の運動会が、部落地区公民館といっしょに行われました。子供が出ればおとなが声援し、おとなが出れば子供は体を思いっきり伸ばし声援します。おとなの綱引きで綱が切れたり、リレーでバトンを渡す相手がわからなくなったりのハプニングもありましたが、子供とおとながいっしょになって梅雨どきの晴れ間を楽しんでいました。

## 結核レントゲン

個人通知します。必ず受けてください。

期 日	会 場	時 間
7月20日 (月)	長島商店前 竹沢農協	10:00~11:00 13:00~14:30
21日 (火)	中道屋商店前 坂牧屋商店前	10:00~11:30 13:00~15:00
22日 (水)	五十嵐与吉宅前 民俗資料館 畔上義一宅前	10:00~10:30 11:00~11:30 13:00~13:30
23日 (木)	虫亀小学校 桂谷三叉路	10:00~12:00 13:30~14:30
24日 (金)	仲間商店前 松井治二宅前 東竹沢小学校	10:00~10:30 11:00~11:30 13:30~14:00

## 出稼ぎ者検診・循環器検診

個人通知します。

期 日	会 場	時 間
7月27日(月)	竹沢小学校	9:00~14:30
28日(火) 29日(水)	種苧原小学校	
30日(木)	東竹沢小学校 池谷小学校	9:00~11:30 13:00~14:30
31日(金)	虫亀小学校	9:00~12:00

## 胃 部 検 診

成人病予防には早期発見が大切です。検診で健康のチェックを。

費用— 2,500円 (本人負担 1,000円)

期 日	会 場	時 間
8月1日(土)	竹沢農協	8:30~10:00
5日(水)	虫亀飼育所	
6日(木)	役 場	

八月三日、十七日、二十四日の三日間、移動保健所を設け、竹沢地区で飲料水の検査を行います。この検査は飲料水に含まれている物質および細菌を調べ、飲料水に適しているかどうか調べるものです。村内では各戸ごとに井戸があり、水質も違います。よい機会ですので、すすんで検査を受けてください。

検査対象は百五十世帯の予定ですが、部落別の日程、検査の方法など後日お知らせしますので、よろしくご協力ください。

7月19日

## 夏季消防演習

山古志中学校  
グラウンドで



河川愛護月間  
7月1日~31日

お知らせ

七月十九日(日) 午前九時より、夏季消防演習が行われます。消防団の方々は、私たちの生活の安全を守るため、日夜訓練に励んでいます。この日は団員二八名が集まり、分列行進や放水訓練など、日頃の成果を発揮するものです。

これから一番暑い季節ですが、気を引き締めて、火災を起こさないよう注意しましょう。

## 56豪雪による 錦鯉被害に融資

大きな被害を出した今冬の豪雪ですが、これら天災による被害漁業者に対して「天災融資法」が適用されることになりました。村内では錦鯉養殖者が対象になります。借入希望者は次の事項にご留意のうえ、七月十日(金)までに産業課へ申し込みください。

▽借りることができる人  
豪雪によって錦鯉等に被害を受けた人で、その減収量が平年の収穫量(錦鯉生産量)の三〇%以上で、損失額が平年の漁業総収入額



NHK  
午後6:40

## 児童画廊

20日~25日  
東竹沢小児童の絵が登場

NHK総合テレビ、にいがた640『児童画廊』に、7月20日(月)~25日(土)の1週間、東竹沢小学校児童の画いた絵が登場します。

……苦心したところや、もっとうまく画きたかったところなど、子供たちが自分の絵について話します。

## 飲料水の検査 を行います

お宅の水は  
だいじょうぶ?

8月に竹沢地区で

# 7月17日(金)は 農業委員選挙

任期満了による農業委員会委員一般選挙が、七月十日に告示、七月十七日に投票が行われます。近年の農業を取りまくる社会情勢は目まぐるしく変わり複雑化しています。この中で今後三二年間、農業の発展をおし進めて農家の利益を守ってくれる人を選ぶ身近で大切な選挙です。

とかく関心が薄いといわれるこの選挙ですが、農業を真剣に考え農家の代表としてふさわしい人を選びましょう。

なお農業委員は、選挙で選ばれた人十人、農協推せん三人、議会推せん(学識経験者)二人の合計十五人で構成されています。

## 投票は七時から

投票は午前七時から午後六時まで、村内十一の投票所で行われます。棄権しないよう、入場券を持っておいでください。



## 投票できる人

投票できる人は、村内に住む二十歳以上で農業委員選挙人名簿に登録されている人です。

選挙運動は立候補届出の日から投票日の前日まで行うことができます。

## 公正な選挙を 行いましょう

農業委員の選挙権があり、七月十七日まで二十歳に達している人です。

## 立候補できる人

地を耕作する経営者とその同居親族で、年間六十日以上農業に従事している人が登録されています。

できます。不在者投票は七月十日から十六日までの午前八時三十分～午後五時に、役場に来て行ってください。

立候補は十一日まで...自分で立候補したり、他人を候補者に推せんする人は、七月十日と十一日の午前八時三十分～午後五時に届出しなければなりません。用紙等は選挙に用意してありますので、あらかじめお問い合わせください。

## 工事にご協力ください

# ことしの公共土木

## 昭和56年度公共土木事業計画(道路工事)

路線名	工事概要	箇所
国道352号線	改良 (500m)	種芋原、長岡市
④小千谷栃尾線	側溝フタ	間内平
	改良	桂谷
	拡幅	池谷
⑤柏崎高浜堀之内線	側溝 100m、用地先行	虫亀
	モルタル吹付	梶金
	ブロック積	〃
⑥池谷越後広瀬停車場線	防雪柵	檜木
	モルタル吹付	〃
	改良(バイパス)	檜木～木籠
	舗装	木籠
	〃	小松倉
〃	改良	〃
	〃(バイパス)	〃
〃	中山トンネル	照明
〃	〃	〃
⑦虫亀南荷頃線	舗装	虫亀
⑧水沢種芋原線	〃	種芋原
⑨濁沢種芋原線	〃	〃
⑩竹沢塩谷線	防雪柵	二丁野
(代行)梶金木籠線	改良	梶金～木籠

今年度の村内で実施される国・県道の改良や舗装工事、砂防工事など公共土木事業の第一次計画が決まりました。

道路工事は次のとおりですが、砂防工事は虫亀滝之林地内など十三箇所です。三箇所が計画されています。これらの工事には六億円を超える多くの経費が投じられます。

なお、村道工事については四月号でお知らせしたとおりです。すでに工事を始めている箇所もありますが、これらの工事が円滑に進められるよう、みなさんのご協力をお願いします。



## 昔のようなでっかい鯉を

### ▲虫亀鱗友クラブが共同採卵

さる6月11日から12日にかけての深夜、虫亀鱗友クラブ(五十嵐幸作会長、会員19名)が、錦鯉総合センターで人工採卵を行いました。今春共同で買った体長91cm、体重16kgあまりのジャンボな白い鯉から採卵し、それを19等分し、各会員が自分のオス鯉とかけ合わせたものです。

昔に比べると山古志の鯉は魅力が薄れてきたという声を聞く。訳を詰めたら、近親交配が進んで、鯉が早熟し小型化しているということだった。こりゃあ、でっかい鯉を作らなきゃいかん!—そこで親鯉探しに会員が県内をくまなく回り、ようやく、真鯉から出たという骨格のすぐれたジャンボな白鯉を見つけたということです。

会長の五十嵐さんは、「今はまだ、きれいな鯉を出そうというのではありません。大型で将来が期待できる鯉が出ればと思っています。ふ化した稚魚は普通の稚魚よりでっかいし、この同じ親から出た鯉で8月には品評会をします。非常に楽しみですね。また、白鯉を譲ってくれた岩間木の泉屋さん、鯉の管理や採卵で骨を折ってくれた漁協の皆さんなど、私達の話をお聞きいただき、大変感謝しています。」

19人だからこの仕事できたこと。鯉を本気でやる人が集まったこのクラブ、これからの活躍がますます楽しみです。



なおこの議会の席上、村章をデザインされた小高友一さん(長岡市濁沢)に、感謝状と記念品が贈られました。

## その他

△和解調停 関 健了さん外一人の損害賠償請求訴訟について、山古志村が関さんに八百万円を支払って和解することが議決されました。

## 6月定例村議会

# 補正予算など 11件を可決・承認

昭和五十六年第一回定例村議会は、六月十九日招集され、一般会計補正予算など十一件を審議し、それぞれ原案どおり可決、承認されました。

主な内容は次のとおりです。

### 補正予算

▽一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ八、〇三九万円追加し、総額は十四億五、五三三万円となりました。主なものは次のとおりですが、特に、海の家

## 条例

▽税条例の一部改正

村民税の法人税割を、百分の十二・一から「百分の十二・三」に引き上げるもの。

▽海の家建築基金条例の廃止

海の家建築のための基金を廃止するもの。建築予定の関係町村で話し合いの結果、建築を見送ることになったものです。

## 人事

▽監査委員

任期満了の監査委員に、風間伴治郎さん(七十六歳、種芋原)の再任が同意されました。(任期四年)

▽農業共済評価委員会

任期満了の同委員に、次の五名の方の再任が同意されました。(任期三年)

- 山口 博(五十四歳) 種芋原
- 田中 五郎(七十歳) 虫亀
- 星野 清司(五十八歳) 二丁野
- 五十嵐毅一(五十六歳) 梶金
- 齋藤亀次郎(七十一歳) 池谷

# 転作でクレソンを栽培

二丁野の星野さん



二丁野、星野達雄さん方で、水田転作で二アールの田んぼにクレソンを栽培しています。クレソンは、ワサビの仲間、ミズタガラシとも呼ばれ、春から秋まで収穫できます。ビタミンなど栄養豊富で、サラダ、おひたし、あえものなどに使われ、焼肉の付け合わせにも最適です。食べてみると、シャキッとした歯ざわりとちよつとの辛み、星野さん

も「マヨネーズを付けて食べるとおいしいですよ」と。  
また、クレソンは水田状態で栽培でき、水田転作に向いています。冷たい清水の掛け流しが必要なため、井戸の出口の田んぼなどに最適といえます。

なお栽培方法等のお問い合わせは農業改良普及所 三〇一一へ。

## おじさまがいます

▼ 野球リーグ戦開幕  
5月31日の「春の顔見せトーナメント」を皮切りに、村内でも野球シーズンに入りました。6月～8月の前期で、早朝リーグ、ナイターリーグで約90試合が予定され、村内外12チームが熱戦を繰り広げています。



けつこうきついです。しかし、好きなことをやっているんですから……。」

隣りでは、お母さんが「野球の時しか朝早く起きてこないんですよ」とニコニコしていました。

また、今年で青年会長が三年目と、ここでも大役を果たしている正博さん。益が主な行事で、部落の苗代消毒も青年団が行ったとのこと。勤務先は小千谷市の織物工場。

## 野球チームの監督一年生

### 「朝起きるのが一番つらい」

梶金の五十嵐正博さん

五十嵐正博さん(25歳)は、今年から、東竹沢地区で作っている野球チーム「イーグルス」の監督です。世帯主は正夫さん。

「イーグルスについては……。」

「3年前に結成し、梶金、木籠それに小千谷市十二平の15人でやっています。特に梶金の若い人は全部入っています。村内では平均年齢が一番若いチームです。」

去年は3、4勝しかできませんでした。日曜のたび東竹沢小のグラウンドなどで練習やっています。ですが、試合になるとどうも……。」

でも今年一勝したし、だんだん勝てるようになってきているので、目標は、きついで勝率5割！」



「18」。球技が好きで、学校の時は卓球、野球は会社で始めて8年になるといいます。

「やっぱり、朝起きるのが一番つらいです。4時すぎに起きてグラウンドへ、7時に野球が終わって、そして会社へ行くんですから、

行政に対しての希望は……。」

「冬の道路なんですけど、もっと平均に除雪してほしいと思います。家混みの所が良くないんですけど、道路を広げるなどしないと無理なんじゃないですか。」

「冬になって除雪も大分良くなって助かります。今年の豪雪でも、道路のため仕事を休むことは一日もありませんでした。」

## 「みんなで遊べる川に」 ヤマメ、アユなどを放流

6月19日、魚沼漁協(高野達次山古志支部長)により、昨年に続いて、ヤマメ、イワナ、アユの稚魚約3,000尾が放流されました。このほか、すでに2.5トンのハヤが村内の各河川に放流されています。

「昔どおりの魚の住むきれいな川にし、川でみんなが遊べるようにしたい」と行ったもので、同漁協では「河川美化」への協力を呼びかけています。

川は生きています。生かすも殺すも私たちがしだいなのです。



「昔どおりの魚の住むきれいな川にし、川でみんなが遊べるようにしたい」と行ったもので、同漁協では「河川美化」への協力を呼びかけています。

川は生きています。生かすも殺すも私たちがしだいなのです。

## 土地取引の届出制度

### 一万平方メートル以上の土地売買は届け出を

日本の国土は、生活と生産の基盤として、租先から受け継ぎ後世に伝えてゆく大切な資源です。昭和四十七、八年ごろの土地の買い占めや地価の暴騰のように、国土利用を混乱させるような事態を二度と起こしてはなりません。

そこで国土利用計画法ができ、土地の投機的取引や地価の高騰を防ぐため、一定面積以上の土地取引を行う両当事者に、届け出を義務づけています。売買・交換・地上権の設定・賃貸借などの契約を結ぶ六週間前までに、村長を経由

して県知事に、その土地の価格や利用目的を届け出るものです。届け出なければならぬ土地取引の面積は、山古志村の場合、一団の土地で二万平方メートル(約一町歩)以上です。

届け出を受けた県知事は、内容を審査し、もし適正でない点があると、取引の中止や価格の引き下げを勧告することがあります。なお、詳しいことは総務課へお問い合わせください。

## 届出から契約まで



## おのれのかみかみ (138)

八犬伝とその作者

修 野 軍 一 彦

蘭学者、渡辺華山や高野長英などは捕えられ小関三英は自殺している。歌舞伎の市川海老蔵(後の七代目團十郎)などの役者は江戸追放の処分になった。劇作者為永春永はその著作「春色梅児誉美」が絶版を命ぜられた上、手鎖り五十目の刑を受けた。柳亭種彦は「田舎源氏」の作が災いして絶版の上、出自が武士であった事から切腹させられた。

八犬伝の、版元である丁字屋平兵衛は為永春永の「春色梅児誉美」の版元である事として、その版木は焼却され、まとめた製本は全部廃棄を命ぜられた上過料金をとられた。何しろ「良俗を乱す」という理由から遊女や俳優の一枚刷り錦絵だとか、草双紙の色刷りの口絵まで御法度となるほどだから、人情本などは初手から禁示をくい版木などは奉行所の手で焼かれる騒ぎである。庶民の妻や娘などが着衣の裏地に甲斐絹をつけたものを着ていたのを見つけ、往來の道をかまわず身ぐるみ剥いで裸にしたり、ギヤマンの櫛や銀の簪などを差していようものなら、

いきなり引き抜かれるという具合であった。食べものにおいても庶民のささやかな楽しみ、天ぷらや寿司、鰻の蒲焼、さてはお菓子の類にまで小うるさく文句をつける仕末だから、高級料理店などでは店じまいをしなければならなかった。以上などは一部分だけの面であり、全体的にみれば恐怖の政治、恐怖の改革であった。したがってこれらの世はどうなっていくのか、恐怖のおののきとなりそれが次第に怨嗟の声とかわり、水野の片腕となつてあらゆる庶民の生活をあばく南町奉行鳥居甲斐守の名が隠蔽であったことから、「妖怪」と呼んで恐れたり憎んだりするようになった。

そうした改革の嵐は、馬琴の身に及び馬琴が心血をそいで書きつつある八犬伝の第九輯の五十巻から五十三巻までの稿本が奉行所にとりあげられて留められた。仰天した馬琴であるが外面では、「勸善懲惡を標榜した八犬伝の小説である。春水達の人情本と同一に見られるのは心外である」といまいて成行を見まわっていた。